

さがえ未来創成戦略の進捗状況 (効果検証)

平成28年10月

さがえ未来創成戦略推進本部

I. 農業振興(さくらんぼ)

さがえ
未来
創成

～3つの大きな課題～

- ①収穫期におけるさくらんぼ労働力の確保、②生産体制強化のための設備投資
- ③国内外における販路開拓(国内における競争相手の出現)



【さくらんぼ労働力】

☆「さくらんぼボーナス(短期労働者向け報償制度)開始(利用者675人)

☆「箱詰め研修会」初開催(85人参加)

☆さくらんぼオーナー制度創設(申込303件)

☆「学生ボランティアの受入拡大」

新規:山形大学農学部、武蔵野大学

農業所得の向上

⇒市内経済への波及効果

⇒日本一さくらんぼの里さがえのブランド化



【生産体制強化】

→老朽化と生産者高齢化への対策

☆雨よけテントの設置補助(28年度:86棟/302a)

☆労働負担軽減のため高所作業車の導入補助(28年度:15台)



【国内外における販路開拓】

→紅秀峰のブランド化と新たな販路拡大策が課題

☆トップセールスによるPR(東京/大阪)

☆マレーシアへの輸出強化(166kg⇒400kg)

☆新たな輸出先の検討

海外輸出促進協議会の設立

I. 農業振興(稲作)



つや姫のブランド化と米価安定

・県の高級ブランド米「つや姫」の最高級品質を目指して結集したプロフェッショナル集団
⇒「つや姫ヴィラージュ」(村長:土屋喜久夫 氏)



つや姫ヴィラージュの拡大 ⇒ ブランド米の生産拡大へ

H27 39.6ha → H28 46ha(16.2%増)



山形の米日本一推進運動食味コンクール 「山形県知事賞(最高賞)」4年連続受賞

販路拡大へ向けて

「つや姫三姉妹」を商品化

銀座三越の山形フェアでPR

「ミラノ万博」の山形パンフレットで世界にPR

ふるさと納税返礼品が大好評

清流寒河江川育ちはえぬき 1,956t(27年度)

厳選つや姫 30t(27年度)

はえぬきも
平成27年度
県知事賞を受賞



つや姫の里さがえのブランド確立と寒河江産米のブランド化

I. 農業振興(その他)



- ・農業従事者の減少→地域農業の衰退を防ぐ**新規就農者の確保**
- ・**伝統野菜の振興**や**地産地消の促進**などの地域経済循環を図る取組み

【新規就農者の確保】

☆ 農業へ関心ある人へのアプローチ

- ①新・農業人フェア(東京、大阪)
- ②ふるさと回帰フェア(東京)
- ③やまがたハッピーライフカフェ(有楽町)
⇒相談 60件以上

☆ 農業体験ツアー初開催(2名参加)

☆ 就農者受入れ体制づくり

- ①研修受入農家の拡大(経営体3⇒4体)
- ②新規就農者支援育成協議会の活動
- ③農地中間管理事業の活用等

地域経済循環で稼ぐ農業

【伝統野菜の振興や地産地消の促進】

☆ 伝統野菜の生産組織活動

子姫芋、谷沢梅、もって菊の生産、加工、販売拡大

☆ 地産地消の推進による経済循環

- ①学校給食を通じた地産地消の食育
- ②たしろ亭などの地域づくり活動における地産地消の推進



新規就農者の確保



生産者の皆さんを紹介します

高橋啓明さん・金子ひさ美さん 生産作物: さつまいも、きゅうり、きゅうり、人参	五十嵐謙之さん・田村さくらさん 生産作物: さつまいも、さつまいも、人参	高平康徳さん・早苗ひさ子さん 生産作物: さつまいも、さつまいも、アズハウズ、じょういち、ピーマン	今村正一さん・八重子さん 生産作物: さつまいも、人参、大根、さつまいも
大工油藤智さん 生産作物: さつまいも	黒田純一さん 生産作物: トマト、ピーマン	黒澤幸彦さん 生産作物: 大根、トマト	阿部新一さん 生産作物: 白菜、小松菜

Ⅱ. 企業支援・企業誘致



・立地企業(工業団地)の撤退により、企業数は一時減少したものの、**今年度4社進出(予定)**が決定し、**市内製造品出荷額も増加**

企業誘致

企業支援

平成27年11月認定

＜山形県企業立地活性化計画＞

目的: **本社機能の拡充**等を支援

対象: **寒河江市**を含む県内

支援内容: **オフィス減税・雇用促進税制**

＜ものづくり・商業・サービス革新補助金＞

サービスやものづくりの新事業を創出するため、革新的な設備投資やサービス・試作品の開発を行う中小企業を支援【国制度】

※補助額: 500～3,000万円 補助率: 2/3

27fy: 8社、28fy(8月末): 4社 (市内企業)

＜平成27年度＞

- ・東鉦商事 (工業薬品卸売業)
- ・鈴木自工 (自動車整備業)

＜平成28年度＞

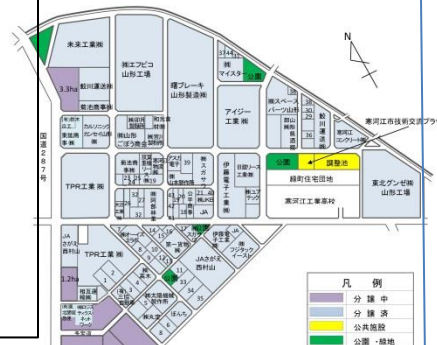
- ・和光食材 (業務用食品・資材卸売業)
- ・関宿急便 (一般貨物運送業)
- 他2社(予定)

＜小規模事業者持続化補助金＞

小規模事業者の地道な販路開拓等の取り組みや、地道な販路開拓等とあわせて行う業務効率化に取り組む企業を支援【国制度】

※補助額: 50万円限度 補助率: 2/3

27fy: 11社、28fy(8月末): 5社 (市内企業)



Ⅲ.創業支援



- ・全国(1.84%)及び県内(1.23%)よりも**低い創業率**(1.14%)、**中心市街地の空洞化**
- ・新規雇用創出や地域経済活性化の観点から、**関係機関と連携した創業支援**
- ・個別の創業支援から**創業(開業)を通じた「まちづくり」支援へ**



寒河江・西村山創業支援事業計画(平成27年10月策定)

県内初の
広域創業支援

寒河江市、河北町、西川町、朝日町

山形銀行 荘内銀行 きらやか銀行	山形中央信用組合 山形信用金庫 日本政策金融公庫	寒河江市商工会 河北町商工会 西川町商工会 朝日町商工会
------------------------	--------------------------------	---------------------------------------

※大江町は単独で計画策定(セミナーなどは共催)



- ・主に女性をターゲットとした西村山創業セミナー(参加者数19人)
 - ✓ 「7時間×3日」の**本格セミナー** (本年2月、4月開催)
 - ✓ 女性が参加しやすい**女性コンサルタントを講師**に採用
 - ✓ **金融機関をゲスト招聘**し、「金融機関から見た創業」でアドバイス
- ・地域誌Moriverを活用した**創業者PR**(5回シリーズ)
- ・寒河江市単独事業となる**空き店舗等対策支援事業**(店舗改装及び家賃補助/9件)及び**起業・創業支援事業**(8件)

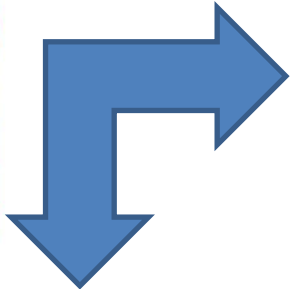
IV.観光振興(観光資源の発掘・整備)



・市内の自然・歴史等を活かした**観光資源の発掘・整備**

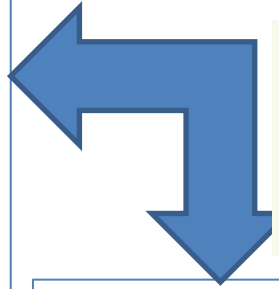


連携・送客



中心市街地
(寒河江駅周辺含む)
★ **新たな観光資源化**
⇒佐藤繊維GEA(総務省)
★ **駅なか観光受入体制整備**
⇒みはらしサロン観光案内所運営開始

連携・送客



葉山とその周辺

★ **情報発信の強化**
⇒山と溪谷社「山形のやま旅」特設サイトとパンフ作成
★ **市民荘の利活用強化**
⇒トイレ24時間化
★ **観光客の受入体制**
⇒ツールドさくらんぼエイド、サイクルステーション整備

慈恩寺とその周辺

★案内看板設置
★駐車場及びトイレ整備
★ **地域の積極的な取り組み**
⇒慈恩寺散策ツアー(4回)
★歴史を紐解く
⇒修験の道ウォーキング
★ **仙台からの誘客促進**
⇒慈恩寺ジャーニーツアー

着地型観光を推進
滞在時間の延長
⇒経済循環

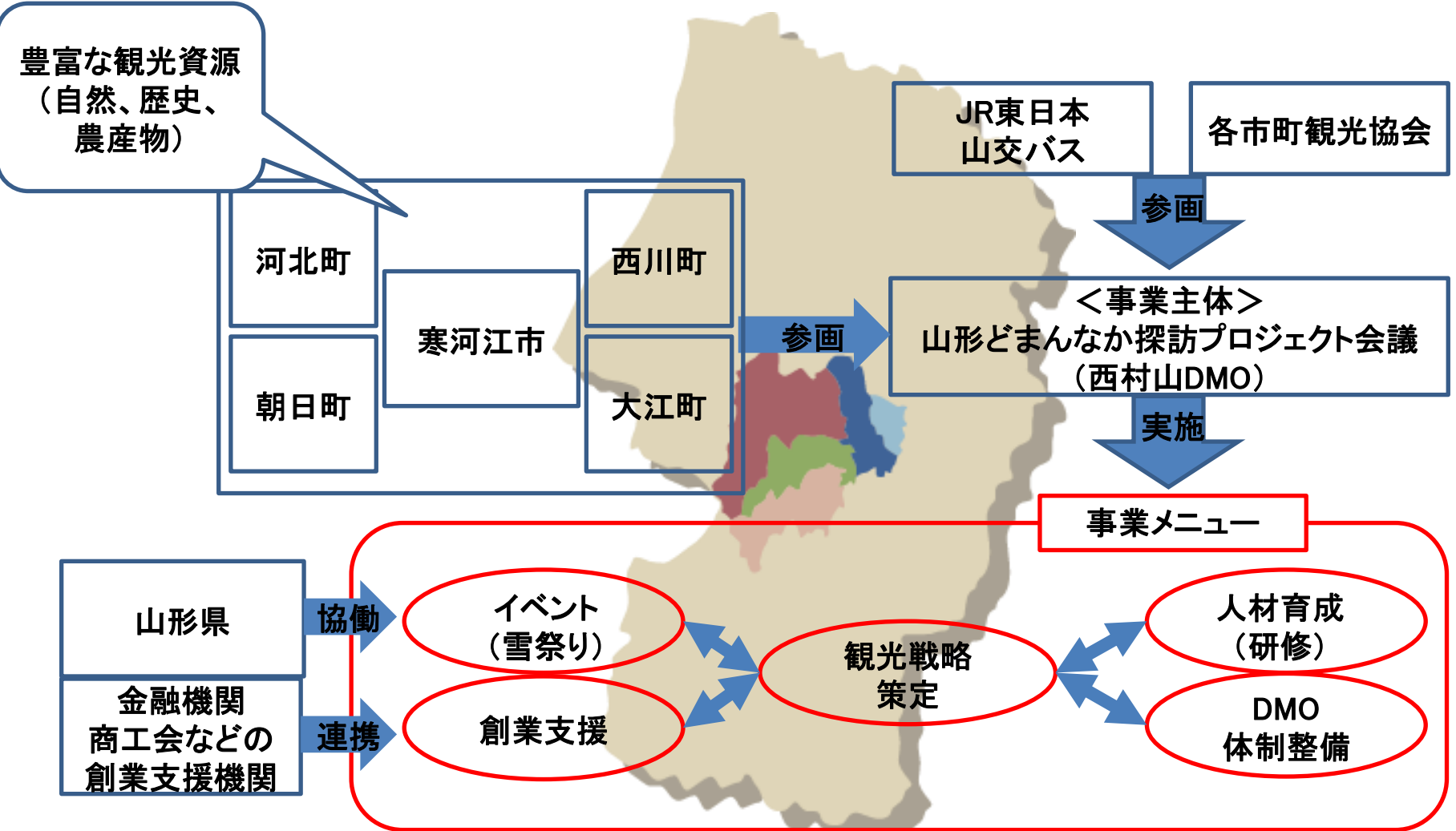


連携・送客

IV.観光振興(広域観光)

さがえ
未来
創成

- ・地方創生関連交付金を活用した西村山1市4町の広域連携を推進(西村山DMO)
- ・イベント開催だけでなく、観光戦略策定に係る調査、創業支援、人材育成を実施
- ・平成28年度も同体制により西村山広域観光戦略推進事業を推進中



IV.観光振興(訪日外国人対応)

さがえ
未来
創成

- ・山形県における外国人旅行者県内受入実績は過去最高となり、寒河江市における外国人観光客数も増加
- ・他方、都道府県別外国人延べ宿泊者数は全国41位(東北4位)に留まり、寒河江市における外国人観光客受入体制にも多くの課題が残る

受入実績:過去最高だが、震災前(平成22年)比100.6%に留まる
宿泊者数:宮城(19万人)、青森(11.9万人)、岩手(10.6万人)に劣る

<県内>外国人旅行者受入実績: 49,755人(25年)⇒68,217人(26年)⇒96,847人(27年)

<県内>外国人延べ宿泊者数:3.7万人泊(25年)⇒4.8万人泊(26年)⇒7.6万人泊(27年)

【外国人案内所/消費税免税店】

- ・JNTOによる外国人観光案内所の認定制度において、道の駅「チェリーランド」がカテゴリー1を獲得(県内において3番目に取得)
- ・市内2カ所目となる消費税免税店許可をチェリーランドが取得

【おもてなし強化】

- ・外国人向けパンフレット(英語及び繁体字)をネイティブのアドバイスを踏まえ制作
- ・観光ボランティア向けの研修において、外国人観光客へのおもてなし研修を実施

【海外向けPR】

- ・朝日町と連携して、メインターゲットとなる台湾からTV番組ロケを誘致、寒河江の魅力を発信(TV、youtube等)

IV.観光振興(集客イベント)



・数多くの観光イベントを通じ、**高いサービスを提供でき、収益性のある観光地域づくり**を行うことが必要

冬

やまがた雪フェスティバル
⇒観光客数が落ち込む**冬季の大型イベント**として初開催(16.1万人)

初夏

さくらんぼ祭り、さくらんぼスポーツ大会(ツールド、ウォーク、マラソン、
ストライダー)、ゆめタネ、慈恩寺秘仏展
⇒**さくらんぼもぎとり観光と連動したコンテンツ提供**
⇒市内滞在時間拡大⇒**経済効果アップ**

夏

流鏝馬全国大会
⇒**新たな観光資源発掘、寒河江祭りへの誘客効果**

秋

寒河江まつりのリニューアル(Meat de Meet、うまい!グルメフェス)
⇒グルメイベントバージョンアップ
⇒メインイベント(神輿の祭典、流鏝馬)に向けた**賑わい創出**

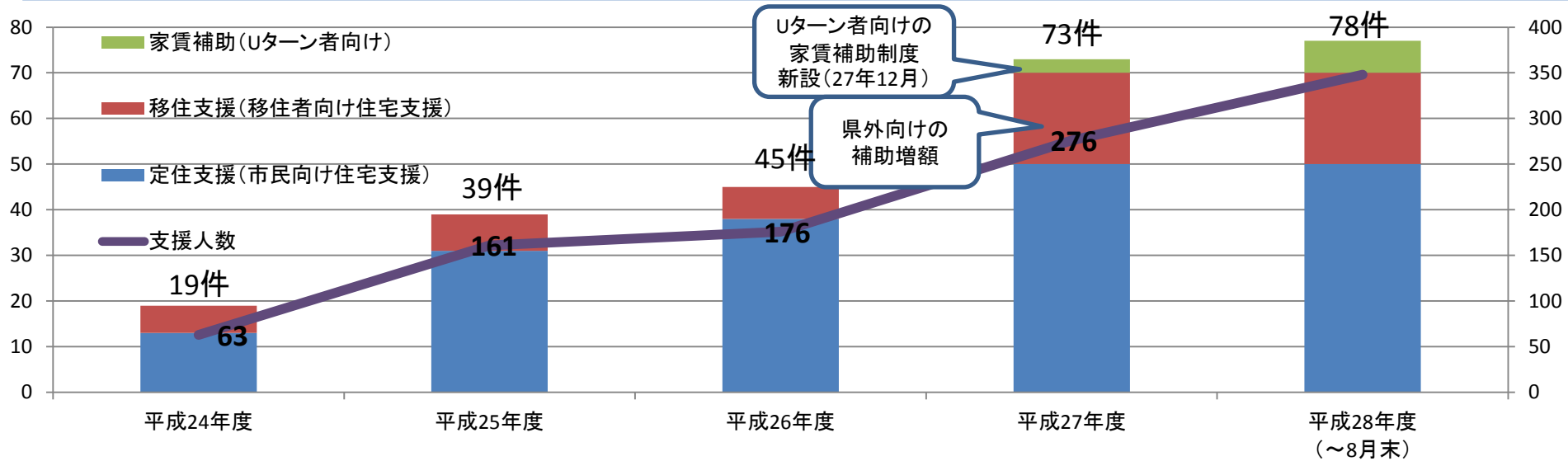


イベントを通じた観光地域づくりを推進

V.移住・定住支援(住宅支援等)



- ・子育て世代やUターン者などにターゲットを絞った効果的な住宅支援
- ・他方、①「新築住宅>中古住宅」や②住宅ローン金利及び市内住宅需要の今後の変動が懸念



※平成27年度:新築・建売:70件、中古:0件(うち県外1件)、平成28年度:新築・建売:68件、中古:2件(うち県外5件)

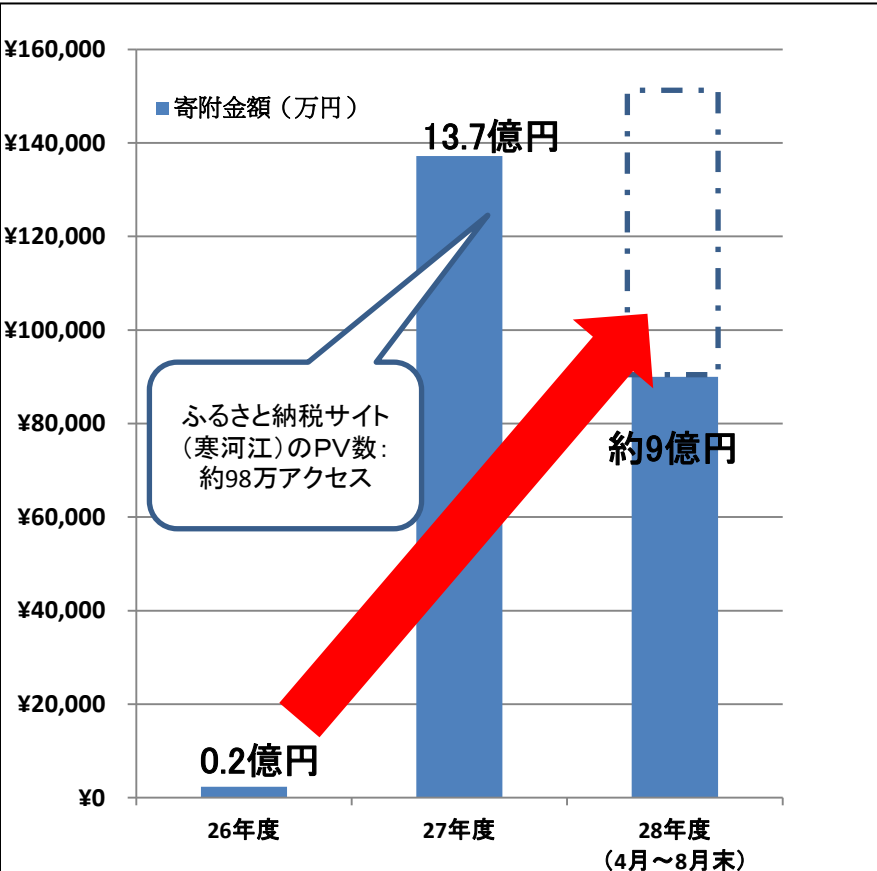
主な移住・定住支援

- ・ハローワーク寒河江との連携:企業ガイダンス(東京)の共催 等
- ・子育て定住住宅建築事業:移住者・定住者向け住宅建築・購入の支援(中古住宅購入含む/子育て世代や移住者には手厚い支援あり)
- ・定住促進賃貸住宅家賃助成事業:Uターン者向けの家賃補助
- ・奨学金返還支援事業:Uターン者向け奨学金返還支援

V. 移住・定住支援(魅力発信・ネットワーク構築等)



- ・ ふるさと納税(ネット)と各種イベント等(リアル)を連携したプロモーション及びネットワーク構築・強化
- ・ 都市部の大学生や地域おこし協力隊などの ワカモノやヨソモノの積極的な受入



【ふるさと会(仙台寒河江会)】

- ・ イベント開催(延べ165人参加)
- ※会員数: 382人(21年度)⇒583人(28年度現在)

【観光物産祭り】

- ・ ふるさと納税者を主なターゲットとした観光物産祭り(東京)を初開催(参加者2千名限定)

【都市と農山村交流】

- ・ 早稲田大学(19年間)及び東京農業大学に加えて武蔵大学との交流をスタート

【地域おこし協力隊の活用】

- ・ 平成25年度: 1名⇒平成28年度: 4名
- ※観光振興担当、中山間地担当、魅力発信担当、NPO(環境保全)担当

VI.結婚支援



・「**婚活コーディネーター**」による婚活支援に加え、平成27年度より「**結婚支援活動団体**」への支援や「**ご当地婚姻届け**」を展開し、**平成28年度には経済的支援となる「結婚新生活支援事業」をスタート(環境整備＋直接支援)**

【婚活コーディネーター】

定期の情報交換会を実施し、婚活を行う親のサポートや結婚を希望する**独身男女の仲介を行う**

＜婚活コーディネーターの支援による市内での婚姻件数＞

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度 (4月～8月)
3件	1件	8件	2件

※寒河江市婚活コーディネーター登録数：26名

朝日町との
合同情報交換会
を初開催

【ご当地婚姻届け】

平成27年度より寒河江独自
ご当地婚姻届を結婚情報誌
“ゼクシィ”とタイアップで展開



【結婚新生活支援事業】

経済的理由で結婚に踏み出せない若者の回帰を支援する制度を新設(平成28年度9月補正)

対象者：世帯所得300万円未満の新規に婚姻した世帯
※「40歳以下」「転入者」の要件あり
対象費用：引越費用、賃貸の初期費用
支援額：最大18万円(国3/4＋市1/4負担)

Uターン者向け家賃補助との組み合わせも可能

【結婚支援活動団体補助】

平成27年度より**婚活イベント等を開催**する団体への補助を開始

※市内2団体がイベントを開催

イベント参加者数：計68名 カップル成立5組

VII. 出産・子育て支援①

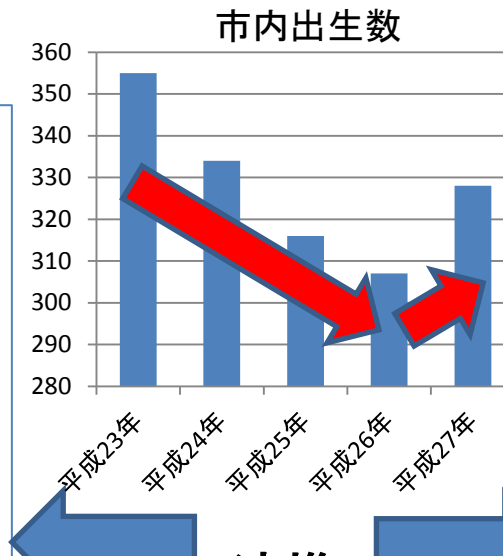
さがえ
未来
創成

・妊娠から子育てまでの切れ目のないソフト支援、経済的な支援及びインフラ整備を連携しながら推進することがポイント

平成28年4月から
ロタウィルス及び
B型肝炎の助成スタート

経済的な支援

- ★おたふくかぜ、ロタウィルス、B型肝炎、幼児インフルエンザの任意予防接種費用を一部助成（延べ2099人が利用）
- ★第3子以降の保育料無料化を小6以下から高3以下に対象拡大（約70世帯予定）
- ★奨学金返還支援事業スタート（19名を採択予定）



連携

インフラ整備

- ★寒河江第二幼稚園が認定こども園に移行（本年4月）
- ★にしね保育所の増員に向けた増築工事を実施
- ★放課後児童クラブである第三わんぱくクラブを新築移転
- ★市内児童遊園の一斉点検

妊娠から子育てまでの 切れ目のないソフト支援

- ★子育て支援ガイドブックの作成・配布
- ★子育て世代包括支援センターの設置

専任の母子保健コーディネーター（保健師）を配置し、妊娠期から就学前まで一貫して切れ目なく対応

VIII.まちづくり



- ・人口減少を迎える中、**稼ぐまち及び人が集うまちづくり**を各種計画づくりと連動させながら進めることがポイント
- ・農業振興地域の見直しを含め、**都市計画 マスタープランの中間見直しを実施中**
- ・その他、**公共交通の拡充や地域拠点づくり等が進捗**

都市計画マスタープランと連動して

☆土地利用を見直し

新たな住宅用地、工業用地の検討

☆人口オーナス期におけるインフラのあり方 等

H28年度内策定に向け検討中。

(経過:都市計画審議会6回、現地視察1回)



※人口オーナス

人口構成の変化が経済にとってマイナスに作用する状態



若者が住みたく
なるまちづくり

公共交通ネットワークの充実

☆デマンドタクシー+市内循環バス

効率的な生活サービス

利用実績:

デマンドH27年度中利用者延べ5,776人⇒継続

循環バスH28実証運行(1~8月)乗客延べ1,708人⇒本運行へ

☆廃校舎利活用による地域の拠点整備

旧田代小学校の利活用計画策定

事業実施に向けたリノベーション



人口オーナス期
において、子ども
からお年寄り
まで夢と希望が
持てるまちづくり